

学校関係者評価報告書

愛媛県立三瓶高等学校

学校番号 (39)

| 評価実施日 | | 令和2年2月17日 (月) | |
|--|------|---|----|
| 委員 | 氏名 | 所属等 | 備考 |
| | 竹崎幸仁 | 学校評議員 | |
| | 朝井秀幸 | 学校評議員 | |
| | 片山勇一 | 学校評議員 | |
| | 豊島辰一 | 学校評議員 | |
| | 高橋ゆり | 学校評議員 | |
| | 滝澤治 | 学校関係者評価委員 | |
| | 黒田マヤ | 学校関係者評価委員 | |
| | 清家剛 | 学校関係者評価委員 | |
| | 三好栄治 | 学校関係者評価委員 | 欠席 |
| 評価・提言等 | | 提言等に対する改善方策等 | |
| <p>1 学校運営等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に密着した学校、地域に貢献できる学校づくりができています。特に、ボランティア活動への参加率は昨年より大幅に増加している。 ○ 「かななフラワー」に関する諸活動やジオガイド、「銀ちゃんの仮想大賞」での商品開発・販売やボランティア活動などを通じて地域との協働を図ることができている。 ○ 市の協力体制のもと、公営塾が設立の運びとなったが、情報発信がまだ十分ではない。 ○ 三瓶高校の存続と生徒確保に向けて、活性化推進連絡協議会と協力し、地域の活性化と学校の魅力化に関する地域と一体となった努力の様子がうかがえる。地域住民としても町内から高校を無くさないように頑張りたい。 <p>2 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 皆勤率が近年低下傾向にある。今年度は2学期末現在で40.6%となっている。 ○ 公開授業での生徒の様子を見ると、落ち着いて学習できていることが分かった。また、中学生と高校生の座談会の折には、生徒同士の交流を通して高校生活の様子を知ることができ、有意義だった。中学校の年間行事計画に入れることができれば良いと思う。 ○ スタディーサプリを長期休業中の課題及び、課題テストに活用している。これは公営塾と同様、生徒に多様かつ個に応じた学びの機会を与えていることなので、ぜひ十分活用できるように研究してほしい。 ○ 中学生1日体験入学では40名の参加があった。体験後のアンケートの内容は好評であったが、本校への進学には結びついていない状況であるので、生徒確保に向けた、今後の方針やそのための工夫をお願いしたい。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動の環境を整えることで生徒の主体的・積極的活動を図りたい。 ・ 学校行事・総合的な学習(探究)・HR活動等をとおして地域課題解決学習の充実により地域連携・協働を図りたい。 ・ 公営塾の活用を積極的に行い、教職員と講師の連携を密にし、生徒の学力の向上を図りたい。また、その活動の広報に努めたい。 ・ 地域と協力して地元中学校に積極的に働きかけるとともに全国募集も視野に入れた生徒募集と環境整備を行う。 ・ 体調管理に努め、毎日の学校生活が充実したものになるように目的意識を持たせたい。 ・ 小規模校のメリットを生かし、一人ひとりの生徒への個別指導の充実を図り、確かな学力の向上と生きる力を育む教育実践に努めたい。 ・ スタディーサプリ、及び普段の授業でのICT機器の活用について、より効果的に活用できるように研究を重ねる。 ・ 学校説明会の機会や対象中学校を増やし、学校をアピールするとともに、全国募集も視野に入れた生徒確保に努めたい。 | |

3 生徒指導・安全指導・特別活動

- 陸上部が3年ぶりに全国高等学校総合体育大会に出場を果たしている。県総体では陸上部、ソフトテニス部、卓球部が出場したが、マニフェストの目標30人以上には届かず、19人の参加となっている。すべての部活動が充実しているとは言えない。吹奏楽部では部員が1人にも関わらず、三校合同演奏会など、しっかりと活動ができている。
- 西予市模擬議会での高校生の提言に感動した。地域防災やジオガイドなど生徒が主体的に取り組んでいる活動を公営塾とタイアップして本校をアピールしてはどうか。
- アンケート結果では例年と差がなく先生方の努力が感じられる。生徒指導でも大きな問題行動がなく、小規模ならではの早期発見・早期対応が行われている。
- 保育園との交流学習をありがたく思っている。分校になっても続けてほしい。また、三瓶で子育てをしたいと思える子どもたちを育ててほしい。

4 進路指導

- スタディサプリを利用した活動がプラスの評価になっている。また、進路ガイダンス、進路説明会を通して進路実現への意識の徹底が図られている。
- 公営塾の目的は、必ずしも学力向上だけではなく地元の人との出会いによって、生徒たちの将来の選択肢を広げていくことを重視している。このように偏差値だけにとらわれない教育をしてほしい。
- 就職については、就職後のミスマッチを防ぐため、応募前の職場見学に参加させている。また1年生の段階からオープンキャンパスや学校見学を勧めている。

5 人権教育

- 来校時や街中でもさわやかな挨拶を生徒から受けるのは、とてもうれしいと住民が感じている。ただマニフェスト到達度調査では笑顔でのあいさつができている生徒の割合が減少しているのが気になる。
- 人権教育について、教員、生徒、保護者とも高評価を得ている。良好な人間関係づくりがなされていると感じる。

6 現職教育

- 校内研修が目標通り年5回以上行われているが、教員からの評価で教育的成果が上がっているという評価が低い。公開授業と研修の内容について改善するとよい。

7 保健・安全管理

- 感染症の予防のため手洗いや換気の励行が行われ、月1回の生徒保健委員会が開催され、計画的に実行できている。
- 防災避難訓練が工夫して行われている。

8 事務

- 100周年に向けて、美しい学校環境づくりに努めている。
- 防災用ヘルメットやタブレットの購入など適切であった。予算の削減及び有効活用がなされている。

9 三瓶高校活性化推進について

- 生徒募集のために、三瓶中学では少人数の班に分かれて質疑応答ができる学校説明座談会を実施している。
- 公営塾を有効に活用し、三瓶高校の特色として、三瓶高校維持に貢献してほしい。また、公営塾についてよくわからない人もいるので情報発信をしっかりとやってほしい。

- ・運動部・文化部ともに、少ない部員ながら各部が努力している。他校との連携も視野に入れ、生徒に十分な経験を積ませたい。
- ・文化部については、地域との連携を深め、地域文化の継承・発展にも尽力したい。
- ・地域の行事に参加することで、生徒自身が地域の良さを理解し、郷土を愛する心を育てていきたい。
- ・2年生の総合学習の地域の特色や地域人材を生かした、かんなフラワー、ジオガイド、邦楽、文楽、地域防災の五つのグループによる交流学習をさらに発展させたい。

- ・スタディサプリを活用し、個にあった指導、自主学習のための環境を担保したい。
- ・地域協働に関わる取組と連動して、地域課題発見解決型学習の推進など、生徒の進路保障に繋がるサポートを行いたい。
- ・進学・就職ともに将来やりたい職業に就くために、高い目標が持てるよう、1年次より生徒や保護者への進路啓発を充実させたい。

- ・学校教育全体を通して、一人一人を大切にしたい心を含めた指導や人権教育を実践し、自立した社会人の基礎を身に付けさせたい。
- ・家庭や地域との協力のもと、気持ちの良いあいさつがきる生徒を育てたい。
- ・いじめを許さない、いじめをつくらぬ環境づくりに努めたい。
- ・それぞれの公開授業に研究テーマを設けるなど授業改善につながるよう実施したい。
- ・校内研修の内容がニーズに合ったものになるよう工夫する。

- ・生徒の健康課題を発見し、改善につなげることができるよう、計画的に生徒保健委員会を開催し、生徒に発信していきたい。

- ・環境整備と安全管理を徹底し、修繕箇所の早期発見、早期対応を図る。
- ・分校化により予算が本校と一本になるため、本校と連携しながら教育効果を上げるための予算執行に努めたい。
- ・公営塾をひとつの突破口として、市や地域との協力関係を強め、三瓶高校存続と魅力化につなげたい。また、地域外からの生徒の受け入れ準備を加速し、生徒の全国募集につなげていきたい。

